

平成27年度 第1回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 平成27年8月18日(火)

午後2時～4時

場 所 神栖市役所 4階 第一委員会室

■出席者

委 員： 渡邊会長, 野村副会長, 野口委員, 小原委員, 羽生委員, 山口(二)委員, 坂本委員, 松本委員, 樋口委員, 五十嵐委員 (10名)

事務局： 伊藤企画部長, 山本課長, 高安課長補佐, 田中主事, 長谷川主事 (5名)

事務局以外： (株)日本コンサルタントグループ地域経営研究所
山口室長, 中村研究員 (2名)

■欠席者 山口(俊)委員, 大塚委員

委 員： (2名)

■傍聴者 (定員10名)

0人

■会議内容

1 開 会 議長開会あいさつ

2 案件 (1) 意識調査の結果報告について

事務局： 「生涯学習推進計画」の見直しを行うにあたり, 市民の評価や意見を反映させるため, 平成27年5月～6月に実施しました。

結果のまとめについては, 日本コンサルタント(株)に依頼いたしました。

その結果について日本コンサルタントグループ中村研究員より説明がありました。

◆意見等

議長： 説明が終了しましたので意見、質問を受け付けます。

委員： フラワーロード花植え参加について, 居住区別の集計結果で「在学 [1人] 100%」とはどういう意味ですか。

中村研究員： 回答いただいた神栖市在学の方がお一人で「参加している」と回答されたため, 回答者における参加率が100%となっています。

委員： 意識調査は市民を対象に無作為抽出を行ったのですか。

事務局： 計画策定時の意識調査と比較検討をする関係で, 前回と同じ調査方法をとりました。調査票1,500部と回収箱を市内の主な公共施設に設置箇所を増やして調査を実施しました。

委員： 市施設や講座等の実費弁償の必要性は, 以前から別の会議等で議論してきましたが, アンケート結果で「無料にするべき」「費用がかかるためできない」といった意見が多く驚きました。生涯学習は自主的な学びの場なので, ある程度の実費

負担は当然だと思っております。

中村研究員：たしかに事由記載欄で市講座について「無料化するべき」との声も数件ありましたが、「費用がかかるため生涯学習に参加できない」という意見は、あくまで「生涯学習を行ううえで費用の負担が参加のさまたげになる」という広く生涯学習全体に対する調査結果だといえます。

議長：おそらくある程度まで熟達された方は、道具や材料等の負担も増えてくるという意味もあると思います。

－ 休憩 －

委員：市の取り組みとして重要なこととして「学習できる施設を充実させる（使いやすくする）」という項目があるが、実際にどう使いやすくした方がいいかという聞き方をしないと、なかなか改善につながらないと思います。（特に図書館について、具体的な使いづらい部分を教えてほしい）

中村研究員：事由記載欄に、各施設に対する具体的な意見が記載されています。図書館については、「開館時間を延ばしてほしい」「月曜休みを隔週にしてほしい」等の意見がありました。

委員：中央図書館は夏休み中自主学习している学生が多い。また、他の自治体では24時間開館している図書館もある。（図書館の管理運営を委託している佐賀県武雄市）中央図書館も朝7時から夜10時くらいまで自習室を開館できないでしょうか。

議長：図書館は社会教育施設でもあるし、何より治安やコストの問題が大きいのではないのでしょうか、必ずしも開館時間が長ければいいというものでもないと思います。

委員：問題については重々承知していますが、全国的に見ても立派な施設である中央図書館をもっと使用してほしいし、学習意欲のある子をもっと支援してもいいと思います。

委員：これから生涯学習のメインは50代以上の仕事をリタイアした人たちが中心となってくると思うので、その層を対象に財源などでもっと支援を厚くしたほうがいいと思います。

議長：以前は「生涯学習」といえば学校教育や家庭教育を除いたものと捉えられ気味でしたが、今はそうではありません。生涯学習の中心をリタイアした人だけに重視していくのは、最近の考え方と逆行しているし、国の方針とも合わないのではと思います。

委員：今は若い人たちも、仕事の合間に何かを学んだり、趣味を充実させたいという人も多く、時代も変わってきています。そのため、生涯学習も幅広い側面で捉えなければならないと思います。

委員：若い人たちこそ学びたいけど金銭的に苦しかったり、子育て中のお母さん方も学んだり、学びのなかで様々な年代の人とお互いを感化し合う必要があります。高齢の人も若い人も、お互いを支え合って、みんなが頑張れる街にしていきたいと思います。

議長：計画見直しの中で十分意見を出していただければと思います。

アンケート結果については「生涯学習推進計画」の見直しに必要ですので会議には持参して下さい。

案件 (2) 今後の会議日程について

事務局： 別紙計画見直しのスケジュールに沿って今後の日程を説明しました。第二回生涯学習推進会議については、10月中旬を予定しています。今年度中に計画の見直しをしていただきます。

議長： 計画見直しに際して、これから委員は何をしていけばいいですか。

事務局： 意識調査の結果と同時に実施報告書の結果についても考察していかなければいけないため、二つをよく読んでいただき、次回までに疑問や課題の整理をお願いいたします。

3 報告 平成26年度神栖市生涯学習関連事業実施報告について

事務局： 平成26年度神栖市生涯学習関連事業実施報告書の前年度と大きく変わっている所と市民協働課が実施している生涯学習関連事業について、事務局より説明しました。実施報告書については、事業数が199と膨大な数になるので、各委員ご確認いただき、質問やご不明点がありましたら別紙質問票にご記入のうえ、市民協働課へファックスまたはメールにてお送りください。いただいた質問等は、担当各課から回答を徴集し、次回の生涯学習推進会議にて結果をご報告させていただきます。

◆意見等

議長： その他ご意見等ございませんか。

委員： 市民協働課が発行している「まなびアイかみす」に掲載されていた生涯学習人材バンクについて問い合わせたが、電話に出た職員になかなか話が伝わりませんでした。市民協働課の内部事情はわかりませんが、きちんと対応できるようにしていただきたい。

事務局： 今後はどの職員が電話に出ても対応できるよう改善してまいります。

議長： 事業がかなりありますので、皆さん個々でよくご確認いただき質問、意見等は9月10日までに市民協働課へお願いします。

4 閉会 議長：閉会あいさつ